



脳神経外科特集

脳神経外科 和田 晃一

ガンマナイフとは??

これまで脳腫瘍に対する治療は、「全身麻酔下での開頭摘出手術」と「脳全体への放射線治療」が主に行なわれてきました。それぞれ有効な治療方法ではありますが、「手術を行うと四肢麻痺などの後遺症が残る」「手術に耐えられる体力が無い」「正常脳にも放射線が当たってしまう」などの問題で十分な治療が出来ない場合も少なからずありました。



これらの欠点を克服すべく新たに登場した治療法が、『ガンマナイフ』と呼ばれる定位放射線治療装置です。**「ガンマナイフ」では頭部を機械に固定した後、0.1mm単位で微細に移動させる事で、病変部分だけに集中的に放射線を当てることが可能になりました。**この治療法の出現により、これまで治療が困難であった「危険性が高く手術が困難であった脳深部の病変」の治療や、「手術に耐えられる体力が無い」「高齢である」方の治療が可能になりました。放射線を集中的に当てる治療のため治療期間も短く、当院では基本的に2泊3日の入院治療を行なっています。

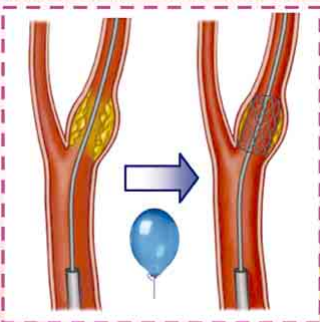


また『ガンマナイフ』は脳腫瘍だけでなく、脳動静脈奇形などの血管性疾患や三叉神経痛などの治療にも応用され、高い治療効果を上げています。

頸動脈狭窄症(けいどうみゃくきょうさくしょう)への血管内治療

脳神経外科 西尾 雅実

近年、生活習慣の変化などによって頸動脈に動脈硬化がおこり、血管が狭くなった患者さまが増加しています。頸動脈は心臓から脳に血液を送る大事な血管です。頸動脈が狭くなると脳梗塞の原因となるため、治療が必要となります。治療の方法は、頸動脈の狭さのほか、全身の状態によって異なります。一般に、軽症の場合は脳梗塞



を予防する薬での治療となりますが、中～重症の場合は、血管を広げる治療が必要となります。以前は全身麻酔を行って、頸部の皮膚を切開、頸動脈を切り開き、血管の中を掃除する手術が行われていました。それに対し、**血管の中から風船をいれて狭くなった血管を広げ、金属の筒状の網を留置する治療(ステント治療)ができるようになりました。**ステント治療は、全身麻酔を行わず局所の麻酔で行うことができ、頸部に傷が残りませんので、体への負担をおさえて治療を行うことができます。そうしたことから、当院でも治療をうける患者さまが増加しています。

理念 ● ● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ● ●

基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。